

Osaka Medical and Pharmaceutical University Hospital News

反医科薬科大学病院ニュース

社会のニーズに応える安全で質の高い医療を皆様に提供するとともに良識ある人間性豊かな医療人を育成します ホームページ https://hospital.ompu.ac.jp/







新年のごあいさつ 病院長 南 敏明

あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、つつがなく 新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

2022年7月に開院いたしました病院新本館A棟は順調に運営されていま す。病院新本館A棟を基に2023年を数字で振り返りますと、2022年7月から の1年間とその前の1年間の比較では、救急搬送患者数は3,665件→6,660 件/年と1.8倍になり、病院新本館A棟開院に合わせて病院ホーム ページも刷新したためか、大阪医科薬科大学病院ホームページ (https://hospital.ompu.ac.jp/)の訪問数は38,972件→65,178件/月と 1.7倍になっています。また外来に100インチの病院広報モニター(デジタ ルサイネージ)を設置して、病院新本館A棟・スマートホスピタル・後払いシ ステム・医師の働き方改革などの病院広報だけではなく各診療科の紹介や 行事を動画で掲載しています。最近の若者文化である「本を読まない」、「テ レビを見ない」、「全てSNS」にも対応するためには、パンフレットより動画

の方が受け入れやすいと考えました。

昨夏は異常気象を通り越えて危険な気候であったと思われます。日本気 象協会の報告でも、2023年は7月後半から8月にかけて非常に暑くなり、日 本の夏(6月~8月)の平均気温は1898年の統計開始以降、最も高くなりまし た。日本の平均気温の平年差は+1.76℃で、統計開始以降で最も高かった 2010年(+1.08℃)を大きく上回り、こちらも夏として最も高くなりました。 毎日救急搬送患者を確認していますが、昨夏は中高年の突然死と来院時心 肺停止が多かったように思います。脱水による熱中症や脳梗塞、心筋梗塞で あったのかもしれません。今までの夏と同様に水分を摂取されていたので は全く水分量が足りなかったと思います。今年の冬は暖冬傾向の予想です ので冬でも水分摂取を怠らないようにお願いします。また入浴時の「ヒート ショック」によって浴槽から救急搬送される患者が毎冬激増しますが、いず れにしても水分補給が重要です。

2027年に迎える大阪医科大学創立100周年記念事業、病院新本館建築は 「超スマート医療を推進する大学病院」を基本方針に掲げて工事が順調に進 行しています。2023年9月6日に病院新本館B棟建築が着工となり、2025年 5月30日に竣工予定です。残り1年5カ月の間、工事のために動線が複雑で延 長となりご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたしま す。なお、2024年1月8日(月・成人の日)は通常通り開院いたします。少しで も気になることがあれば、休日ですのでご利用しやすいかと存じます。

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。



謹んで 新春のご挨拶を 申し上げます

看護部長 中山 サツキ



昨年は5月に新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に引き下げ られ、発生から3年余りを経てようやくコロナ禍対策の話題も落ち着きを見 せた1年でした。感染が収束したわけではありませんが日常を取り戻そう とする動きが大勢を占め、コロナ禍に怯えた日々は過去のことになったか割が担えるよう努力してまいる所存です。 のような雰囲気に包まれました。

その一方で、病院内ではご家族の面会制限は継続され、依然としてご不便 をおかけしております。コロナ感染症に加えインフルエンザも全国的に広 がりを見せ、厚生労働省は必要に応じてマスクの着用や手洗い等を呼びか けています。当院におきましても基本的な感染対策の取組みにつきましてに倫理観の醸成は重要課題として取り組まなければならないと考えており は、気を緩めることなく継続しております。皆さまにも引き続きご理解とご 協力をお願い申し上げます。

また、昨年は連日の酷暑に「地球温暖化」を肌で痛感した年でした。昨年夏本年もどうかよろしくお願い申し上げます。

の日本の平均気温は、気象庁が統計を取り始めてから125年の間で最も高 かったということです。秋の訪れをこれほど心待ちにしたことがあったか と思うほど、本当に長い夏でした。日々の暮らしにおいては、一昨年から続 くロシアのウクライナ侵攻に端を発した物価の高騰があり、さらに昨年パ レスチナでの紛争が勃発し、ニュースで連日痛ましい映像が流れました。

多事多難な中で迎えた新年ですが、令和5年の干支は「辰(たつ)」です。 「辰」という字には「ふるう、ととのう」という意味があるそうです。さまざま な難問の解決に向けた状況が整うことを願ってやみません。

本院では昨年から病院新本館B棟の建築が始まりました。2025年度の竣 工予定を目指して、今年はまさに形を整えていく1年となります。また、昨 年新たに設置された救命救急センターは、今年2年目を迎えます。あらゆる 救急医療に対応する救命救急センターとして、皆さまのご期待に添える役

激しい変化の中でも大事な価値観を見失わず、皆さまが安心して高度・先 進医療を受けることができるよう、これからも職員一同さらに邁進したい と思っております。

そのためには何より医療に携わる「人」も大切であり、職員の人材育成、殊

本年が皆さまにとって幸多き1年となりますよう心より願っております。

肝疾患センター公開市民セミナー開催のご報告 [肝細胞がん]についての 講演:10/21(土)



榎本診療部長



西川消化器内科科長

医科大学 肝・胆・膵内科 診療部長の榎本先生に「慢性肝疾患と肝がん」について講演いただきました。また、当院栄養 課の尾籠管理栄養士が「肝心な食事のはなし」について講演いたしました。当日60名の方が参加され、セミナー参加者に は肝疾患センターで作成した「はにたんマグ」を進呈いたしました。アンケートでは「とてもよく理解できた。周りの人に も是非検査を勧めようと思う」「食生活・生活習慣見直します」との感想をいただきました。

肝疾患センターでは、年1回公開市民セミナーを開催しております。今年度は10/21(土)「肝細胞がん」をテーマに兵庫

肝疾患センターでは、肝臓病教室や肝臓病食に特化した料理教室も開催しております。詳細については肝疾患センター ホームページをご確認ください。



デジタルサイネージ設置のご報告

当院では、外来受診時の患者さんの利便性向上および情報発信を目的に、院内にデジタルサイネージ を設置しました。デジタルサイネージとは、モニターを用いて情報表示を行うもので、病院外来棟1階

の待合スペースおよび会計窓口付近に大型モニターを設置し、昨年9月29日(金)から運用を開始しています。

病院外来棟1階の会計待合スペースには、地域連携機関の情報が表示されるモニターと、当院からの情報を発信するモニターを設置 し、一昨年完成した病院新本館A棟や建築中の病院新本館B棟のご案内などを、100インチの大型モニターにてご覧いただくことが できます。今後は、患者さんへお伝えしたいことや当院のアピールコンテンツも投影予定です。

会計窓口前には、当院の届出事項等を表示するモニターを4台と、タッチパネル式で当院登録医を検索できるモニターを1台設置し ています。タッチパネル式モニターでは、提携医療機関検索システムを搭載しており、患者さんご自身で登録医約1,000施設の所在 地・診療科目などの情報を検索していただくことができます。

デジタルサイネージを用いて、患者さんがより快適な医療が受けられるよう、さらなるサービス向上に努めてまいります。

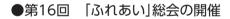




大阪医科薬科大学病院 ボランティアグループ「ふれあい」の活動状況のご報告

大阪医科薬科大学病院は、地域に医療を提供するだけでなく、地域活動に積極的に取り組み、人 的交流の一環としてボランティアを受け入れ、各種活動の場を提供し、「患者さんの立場に立っ たボランティア活動」を通して地域に開かれた病院の実現を目指して取り組んでいます。 ボランティアグループ[ふれあい]は、人と人とが向きあった患者さん志向の[ヒューマンサー ビス」を行っています。

新型コロナウイルス感染症の影響により、活動を一部縮小していましたが、5類感染症移行に 伴い、病棟内活動を除いて従来の活動に戻りつつあります。活動の一部をご報告いたします。



昨年10月5日(木)、歴史資料館3階で総会を開催いたしました。 「ふれあい」の松田会長から活動報告が行われた後、花岡ボラン ティア支援委員長(呼吸器外科科長)から、感謝状を授与いたし ました。

続いて、ボランティア研修として、歯科口腔外科の真野医長による 「当科で行っている口腔ケア」と題して講演が行われました。



- ・初診案内、患者誘導活動(病院新本館A棟への案内活動) ・エコキャップ活動 ・図書活動
- ・縫製活動 ・季節の飾り ・グリーン、植栽活動 ・使用済み切手活動 ・押し花活動
- ・絵手紙活動 ・パステルアート 等



初診案内活動





折り紙活動



病院長挨拶

ふれあい

絵手紙活動



縫製活動

開催予定

広く社会に開かれた大学を目指し、地域社会の知的向上と医学知識の普及を図る ことを目的に、市民を対象とした公開講座を開催しています(毎年度、6回程度)。

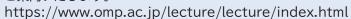
●2023年度の開催予定

2023年度 第6回(本年度最終)を以下のとおり開催予定です。

	開催日時	講演内容·演者
第6回	2月17日(土) 13:30 (13:00 から受付開始)	『喘息診療十年史 〜変わったこと・変わらないこと〜』 内科学 I 教室 中村 敬彦
		『息苦しさを改善する薬:たかが吸入薬、されど吸入薬!』 病院薬剤部 東 春奈
		『喘息発作を予防する生活をともに考えてみませんか』 慢性疾患看護専門看護師 看護師長 西原 望

●2024年度の開催予定

2024年度の開催予定が決定いたしましたら、ホームページにて ご案内いたします。





お知らせ 2024年度 ハッピーマンデーの 開院日について

2024年度のハッピーマンデーは、 以下のとおり通常診療日として開院 いたします。

- ●2024年9月16日 (月・敬老の日)
- ●2025年1月13日 (月・成人の日)
- ・各診療科の詳細につきましては、 窓口にてご確認をお願いいたします。 ・シャトルバス(JR高槻⇔本院)も 通常どおり運行いたします。

診療土曜日の ·部休診について

診療土曜日(第1・3・5土曜日)の一部を 以下のとおり休診とさせていただきます。 ご不便をおかけいたしますが、よろしく お願いいたします。

- ■本院の都合による休診
- ●2024年6月29日(土) 8月31日(土)
- 11月30日(土)
- ●2025年3月29日(土)